

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年3月23日		
号機	5	件名	取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年3月18日10時00分頃、屋外の取水口エリアにある設備の点検で使用するクレーンのワイヤーが切断する事象が発生しました。当該クレーンは、休止中であり、使用再開のために点検を行っていたところ発生したものであり、労働安全衛生規則による事故報告書が必要であるかの確認を労働基準監督署に行うこととしました。

3月23日、労働基準監督署に現場の状況をご確認いただいたところ、労働安全衛生規則に基づく事故報告書が必要と判断されました。なお、今回の事象によるけが人の発生はありません。

【対応状況】

速やかに事故報告書を提出するとともに切断した原因調査およびワイヤーの交換を実施し、再発防止対策を講じてまいります。また、発電所構内にある類似のクレーンのワイヤーについて点検を行ってまいります。

3月24日、労働基準監督署へ事故報告書を提出いたしました。また、「屋外に設置されているクレーンのワイヤーロープにおいては、腐食の進行を考慮して廃棄基準や使用期間の上限を定めること。また、その基準を請負企業に共有し判定させること。」といった内容の指導票を受領しました。

本件を受け、発電所構内にある類似のクレーン（3台）のワイヤーの点検を4月7日から開始いたしました。

（2022年4月14日までにお知らせ済み）

＜切れた当該のワイヤー＞



本件の原因と対策を策定し、5月23日、是正・改善報告書を労働基準監督署に提出いたしました。また、類似のクレーン3台については、点検を行い、異常が無いことを確認しています。

【原因】

ワイヤーの潤滑剤の塗布に関するルールが特段定められておらず、潤滑剤の塗布から2年間が経過していたことを確認いたしました。

その結果、潤滑剤が切れ、錆の発生により、腐食が進行し、ワイヤーが切れたものと推定しております。

【対策】

労働基準監督署の指導票の内容を踏まえ、以下3点のルールを策定し、今後実施していくとともに構内関係企業へ周知してまいります。

- ・点検内容：年に一回の年次点検時、潤滑剤切れが確認された場合は、潤滑剤を塗布
- ・廃棄基準：ワイヤーの腐食状況を確認し、外部腐食、内部腐食を確認した場合は、廃棄
- ・使用期間：上限を8年に定め、定期的に交換

＜他号機のワイヤー＞



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年5月23日

号機

7

件名

タービン建屋熱交換器エリア（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年5月13日、7号機タービン建屋熱交換器エリア（非管理区域）にて足場材運搬作業に従事していた協力企業作業員1名が、5月14日に右大腿部に違和感を覚えました。本人は筋肉痛によるものと判断し、その後も通常通り業務にあたっていました。症状が悪化したことから、5月21日に病院で診察を受けたところ、「右大腿肉離れ」と診断されました。なお、本人は自力歩行が可能で、身体汚染はありません。

【対応状況】

病院での診察の結果、「右大腿肉離れ」と診断され、負傷部への湿布の貼付処置をしております。今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2022年5月23日までにお知らせ済み）

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	—	件名	保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年2月15日
号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日

不適合情報

2022年5月11日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	海水熱交換器建屋換気空調系統の水張り後に空冷チラー(B)を起動したところ、No. 1側ファンモーター過負荷の警報が発生したことを確認した。No. 1側ファンモーターは筐体内部にあり確認できないため、運転を停止。当該事象の原因を調査し修理。	2022/04/28	
2	2号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)の点検中に圧縮機が出力変動を繰り返す事象が発生し、原因調査のために点検期限を延長した。これにともない、引き続き予定していた冷凍機(B)の点検期限の延長が必要なことを確認した。点検期限の延長について技術評価を行い、問題のないことを確認済み。	2022/04/27	
3	2号機	中央制御室において、中央制御室換気空調系(B)加湿器異常の警報が発生したことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/05/01	
4	4号機	取水口除塵設備スクリーン洗浄ポンプ(A)および(B)のストレーナー下部サポート部に、腐食を確認した。当該サポートを点検・修理。	2022/04/27	
5	5号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室において、制御用コントローラー盤制御装置故障および多重伝送現場盤異常の警報が発生したことを確認した。調査の結果、電源ユニットの不具合と推定。当該電源ユニットを交換。	2022/04/30	
6	その他	荒浜側雑固体廃棄物焼却設備480V非常用小容量電源盤の受電切り替えにおいて、1号機低圧電源盤(1SA-2(4C))から雑固体廃棄物焼却設備低圧電源盤(3A)に切り替えできないことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、電源供給に異常はなく、焼却設備の運転に影響なし。	2022/04/26	

不適合情報

2022年5月12日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋2階(非管理区域)の所内蒸気系凝縮水排水装置の温度が上昇しないことを確認した。調査の結果、排水装置の動作不良と推定。当該排水装置を点検・修理。	2022/05/10	
2	1号機	原子炉建屋避雷設備の導線が、電線管と干渉していることを確認した。当該干渉箇所の導線を迂回(引き直し)。	2022/04/12	
3	1号機	66kV南側開閉所補助建屋の送風機Vベルト(3本のうち1本)が外れていることを確認した。当該Vベルトを交換。	2022/05/05	
4	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器貝殻除去装置(B)の起動時、旋回弁の異常を示す警報が発生したことを確認した。調査の結果、弁体のごみ詰まりまたはトルクスイッチの設定ずれと推定。当該弁を点検・修理。	2022/05/07	
5	7号機	非常用ディーゼル発電機(A)の空気だめに、圧力低下を確認した。圧力の低下具合から、微少な漏えいと推定。当該事象の原因を調査し修理。なお、漏えい量は微少で、空気圧縮機で昇圧可能なため、ディーゼル発電機の起動に問題なし。	2022/05/09	

不適合情報

2022年5月13日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋1階(非管理区域)原子炉建屋送風機エリアのケーブルトレイ貫通部耐火ボードの一部が脱落していることを確認した。脱落した耐火ボードをアルミテープで仮固定済み。当該耐火ボードを交換。	2022/05/09	
2	2号機	主変圧器付近のプラント内放送設備(拡声装置)用スピーカー架台(2箇所のうち1箇所)に、腐食を確認した。バインド線で仮固定済み。スピーカーおよびスピーカー架台を交換。	2022/05/01	
3	5号機	気体廃棄物処理系冷凍機(A)グリコール入口弁電磁弁に、異音の発生を確認した。当該弁を点検・修理。なお、気体廃棄物処理系は全停中のため、電磁弁の機能に問題なし。	2022/04/28	
4	その他	大湊側焼却設備の負圧維持運転中に異常を示す警報が発生し、現場の焼却設備建屋排気筒放射線モニタダスト・よう素モニタ制御盤に、サンプルガス温度低の警報の発生を確認した。現場および制御盤に異常のないことを確認し、設備を再起動し異常のないことを確認済み。当該事象の原因を調査し、点検・修理。	2022/05/09	

不適合情報

2022年5月16日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備 考
1	1号機	タービン建屋1階(管理区域)室内温度調節計に、表示不良を確認した。当該調節計を交換。	2022/05/07	
2	1号機	原子炉建屋原子炉一次格納容器漏えい測定室室内温度調節計に、表示不良を確認した。当該調節計を交換。	2022/05/07	
3	1号機	換気空調系環境改善用冷水ポンプ(A)出口弁の開度指示計に、指針の固着を確認した。当該指示計を点検・修理。	2022/05/10	
4	1号機	消防設備の点検時、原子炉建屋地下2階(非管理区域)放射性廃棄物処理設備制御室前の、煙感知器連動防火ダンパーが閉しないことを確認した。当該ダンパーを点検・修理。	2022/05/10	
5	4号機	給水加熱器ドレン系湿分分離器(A)ドレンタンク水位調節弁の銅管接続部に、空気の漏えいを確認した。上流弁を閉止し漏えいを停止。当該弁を点検・修理。	2022/05/11	
6	6号機	屋外放射線監視装置において、主排気筒放射線モニタ(A)の30秒および10分測定値の管理値超過情報の発生・復旧を確認した。中央制御室の記録に測定値の上昇は記録されておらず、また、シンチレーション検出器の測定値にも異常はないことから、プラントから放射性物質が放出された影響に起因するものではないと評価。当該事象の原因を調査。	2022/05/12	

不適合情報

2022年5月17日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋付属棟管理区域地下1階のセメント固化設備室階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/05/12	
2	5号機	サービス建屋3階の排煙ダクトに腐食を確認した。当該ダクトを点検・修理。	2022/05/03	
3	6号機	非常用ディーゼル発電機(C)区域還気ダンパーの電磁弁に、微少な空気の漏えいを確認した。当該電磁弁を交換。	2022/05/12	
4	7号機	タービン建屋大物搬入口(西側)電動扉の閉止中、過負荷により自動停止したことを確認した。開閉装置をリセットし扉を閉止。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/02	
5	その他	保管物品の管理・点検についての社内監査中、資材倉庫の電線管に錆びを確認した。また、付近の保安倉庫・発電倉庫等の電線管にも、同様の錆があることを確認した。当該電線管を点検・修理。	2022/05/10	

不適合情報

2022年5月18日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	常用復水貯蔵槽水位制御弁電磁弁フィルタに、微少な空気の漏えいを確認した。当該フィルタを交換。	2022/05/12	
2	1号機	原子炉建屋最上階(管理区域)天井クレーンの点検中、異音の発生を確認した。調査の結果、位置検出スイッチの破損を確認した。予備品と交換し仮復旧済み。なお、破損したスイッチの部品は全数回収済み。	2022/05/12	
3	6号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)の冷水温度変更において、冷水出口温度計の指示値が変更後の設定値にならないことを確認した。調査の結果、温度計の指示不良と推定。冷凍機(A)の使用を停止。当該温度計を点検・修理。	2022/05/13	
4	その他	屋外放射線監視端末にモニタリングポスト(No. 9)異常の発生を確認した。調査の結果、内部記憶媒体の故障と推定。測定および外部への伝送は正常に行われているが、念のため可搬型モニタリングポストを設置。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/13	
5	その他	日射計年次点検における記録計動作確認において、測定値と記録値にずれがあり、記録紙の打点精度が逸脱していることを確認した。調査の結果、記録用ペン操作系に緩みを確認したことから調整済み。精度内の打点を確認済み。前回点検以降の測定記録への影響を評価。なお、外部への伝送の値に逸脱は確認されず正常と評価。	2022/05/13	

不適合情報

2022年5月19日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	モニタ建屋トリチウム回収装置制御パネル(A系)画面が点灯せず、操作および警報の確認ができないことを確認した。当該制御パネルを交換。なお、B系制御パネルの動作は正常で、A系・B系の交互運転にも異常がないことから、装置の運転に影響なし。	2022/05/14	
2	4号機	中央制御室当直長席の各号機一斉電話端末が発信・着信できないことを確認した。仮設の電話機を設置し仮復旧済み。当該電話機を交換。	2022/05/12	
3	5号機	非常用ガス処理系冷却送風機(A)点検において、起動後に異常のないことを確認し停止したところ、送風機(A)入口弁の開度計に指示不良を確認した。調査の結果、開度計ギヤ部の異常と推定。当該開度計ギヤ部を点検・修理。	2022/05/11	
4	5号機	原子炉建屋付属棟非管理区域の中央制御室裏階段室(3箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/05/17	
5	6号機	中央制御室において、一次格納容器隔離系外側/内側作動の重要警報が発生したことを確認した。調査の結果、警報発生信号の原因となる原子炉水位に変動はなく、インターロック動作もなかったことから警報を解除。警報発生時に作業していた原子炉蒸気発生系統常用デジタル制御装置更新工事の配線作業の影響と推定。当該事象を情報共有し、注意喚起を実施。	2022/05/13	
6	7号機	使用前事業者検査の追加総点検において、検査要領書と条文要求事項の検査対象設備を確認したところ、条文要求事項に紐づく5号機緊急時対策所(対策本部および待機場所)陽圧化装置の配管に、通気確認検査が行われていないことを確認した。当該通気確認検査を実施。	2022/03/08	
7	7号機	使用前事業者検査の追加総点検において、検査要領書と条文要求事項の検査対象設備を確認したところ、条文要求事項に紐づく5号機緊急時対策所(中央制御室待避室)陽圧化装置の配管に、通気確認検査が行われていないことを確認した。当該通気確認検査を実施。	2022/03/08	
8	7号機	原子炉建屋地下1階(非管理区域)A系非常用電気品室において、原子炉補機冷却系圧力調節弁外側戻り隔離弁B電源喪失の警報の発生を確認した。調査の結果、小容量電源盤の一時的な電源喪失または電圧低下と推定。当該事象の原因を調査。	2022/05/16	
9	その他	固体廃棄物処理設備モルタル供給設備洗浄水回収ポンプの点検において、コロナ禍の影響により交換部品の納期が遅れ、点検期限の延長が必要なことを確認した。点検期限の延長について技術評価を実施し可否を判断。	2022/05/16	

不適合情報

2022年5月20日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉補機冷却系ポンプの運転切り替え(A→B)において、ポンプ(A)が停止後に逆転することを確認した。調査の結果、ポンプ(A)吐出逆止弁の開固着と推定。当該逆止弁を点検・修理。	2022/05/17	
2	5号機	変圧器類焼防止ポンプ(B)の点検において、吐出圧力計指示不良を確認した。当該圧力計およびダンブナー(圧力を緩衝する配管部)を点検・清掃。	2022/05/16	
3	5号機	屋外変圧器バルブピットの排水ポンプ吐出配管に、ごく小さな孔の発生を確認した。当該排水ポンプおよび配管を交換。	2022/05/16	
4	5号機	使用済燃料プール監視設備設計における調査において、東側壁面の底部に異物(3個)を発見した。調査の結果、塗膜片、養生テープ片、プラスチック製穴埋めキャップであり、いずれも燃料に影響を与える可能性のある金属物等ではないものと推定。当該異物の回収方法を検討し回収。	2022/05/16	
5	7号機	電解鉄イオン注入設備タービン補機冷却海水系側流量計後ドレン弁付近の保温材カバーから、海水の漏えいを確認した。受けパン設置済み。当該注入設備の配管を清掃し、漏えい箇所を特定し修理。	2022/05/12	

不適合情報

2022年5月23日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	放射性廃棄物処理設備洗濯廃液系収集タンク入口弁(A)の点検において、電磁弁との銅管継手部に微量な計装用圧縮空気の漏えいを確認した。銅管および継手を交換。なお、空気の漏えい量は微量で、弁の動作は正常なことから、設備の運転に影響なし。	2022/05/18	
2	2号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)潤滑油ポンプメカニカルシール側ドレンポット内の油に、変色を確認した。冷凍機の運転を切り替え(D→B)。当該油の分析を行い、原因を調査。	2022/05/15	
3	3号機	非常用ディーゼル発電機屋外設備(軽油タンク、配管、バルブ等)の塗装補修において、軽油タンク(A)上部のベント配管に腐食を確認した。パテ埋め・塗装補修の仮補修を行い、当該配管を交換。	2022/05/18	
4	4号機	低電導度廃液系収集ポンプ(A)(B)の吐出圧力が高めであることを確認した。調査の結果、収集ポンプ(B)出口逆止弁の着座不良と判断。当該逆止弁を点検・修理。	2022/05/17	
5	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ分解部品(インペラ、シャフト、スリーブキー等)の浸透探傷検査において、判定基準を超える指示模様を確認した。当該部品の健全性を評価し、継続使用を判断。	2022/05/18	
6	5号機	放射性廃棄物処理設備のろ過水移送ポンプ(C)逆止弁の点検において、腐食によりヒンジピンが固着して弁体の分解点検ができないことを確認した。当該弁を交換。	2022/05/17	

不適合情報

2022年5月24日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	非常用ディーゼル発電機(A)の排気管点検において、伸縮継手サポートに位置ずれを確認した。当該サポートの位置を修正。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2022/05/18	
2	6号機	原子炉建屋管理区域の南東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/05/18	

不適合情報

2022年5月25日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	125V蓄電池(B)の定例点検時、No. 14、16、19、20セルの電解液比重値が管理下限値を逸脱していることを確認した。単電池電圧は管理値内のため、継続使用に問題はないが、全セル交換の基準を超過したことから全数を交換。	2022/05/20	
2	7号機	フィルタベントドレン移送ポンプ(B)電動機ケーブルの解線作業において、端子箱を開放したところ内部に溜水していた水(約500cc)の流出およびケーブル端子の発錆を確認した。また、ドレン移送ポンプ(A)の端子箱にも溜水を確認した。ケーブル端子に熱による変色や、焦げ跡がないことを確認済み。当該事象の原因を調査し修理。なお、ポンプの電源は遮断されており、フィルタベント設備も保安規定適用前の工事中設備のため、プラントへの影響なし。	2022/05/20	
3	その他	放射能観測車での観測において、超音波風向風速計を自動で昇降させたところ、異音が発生し動作が停止したことを確認した。なお、手動での昇降が可能で測定に問題なし。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/18	

不適合情報

2022年5月26日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	プラント内放送設備(拡声装置)の点検において、タービン建屋地下2階復水器エリアの1台に、拡声放送できないことを確認した。調査の結果、拡声装置内の基板の不良と判明。当該基板を交換。	2022/05/20	
2	1号機	循環水吐出弁ピット排水ポンプの空転および液位スイッチの動作不良を確認した。調査の結果、溜水の排水ができず、排水ポンプカバーメッシュの目詰まりと推定。排水槽および当該ポンプのカバーメッシュを清掃。なお、ポンプ修理中は溜水状況に応じて、ポンプ車にて排水を実施。	2022/05/23	
3	3号機	β ・ γ 線用警報付きポケット線量計の1年点検において、 γ 線測定の判定基準を逸脱している計器(9台)を確認した。当該線量計の使用を禁止。なお、当該線量計は前回点検以降の使用実績がないことを確認済み。	2022/05/20	
4	4号機	放射性廃棄物処理設備に、I系制御装置故障警報の発生・復帰が繰り返していることを確認した。調査の結果、多重伝送現場盤の異常と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/22	
5	4号機	中央制御室において、原子炉建屋換気空調系差圧表示器のバーグラフが消灯していることを確認した。当該計器の健全性確認を実施し交換。なお、送・排風機は正常に運転しており、原子炉建屋の負圧維持に問題なし。	2022/05/23	
6	5号機	大湊側焼却設備廃スラッジ焼却にともなう廃スラッジタンクの攪拌操作を開始したところ、廃スラッジポンプ電源異常の警報が発生し、廃スラッジポンプが停止したことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/20	

不適合情報

2022年5月27日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、当直長席のプロセス計算機用ディスプレイ装置(#11)の画面が消灯していることを確認した。当該ディスプレイ装置を交換。なお、ディスプレイ装置以外の稼働状態に問題はなく、警報も発生しておらず、また、他のディスプレイ装置の表示に問題もないため、プラントの監視に影響なし。	2022/05/25	
2	4号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩装置(A)の水張作業中、プリコート2次入口弁の全閉動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2022/05/23	
3	7号機	5月13日、タービン建屋熱交換器エリア(非管理区域)にて足場材運搬作業に従事していた協力企業作業員が、5月14日に右大腿部に違和感を覚えた。本人は筋肉痛によるものと判断し、その後も通常通り業務にあたっていたが、症状が悪化したことから、5月21日に病院で診察を受けたところ、「右大腿肉離れ」と診断された。 【2022年5月23日公表済み】 https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2022/2022052301p.pdf	2022/05/21	

不適合情報

2022年5月30日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	その他	非常用連絡設備機能確認において、5号機緊急時対策所～柏崎警察署、免震重要棟～柏崎市・刈羽村・柏崎警察署のホットラインに、通話音量の不具合を確認した。当該ホットラインを点検・修理。	2022/03/29	
2	その他	建物設備点検において、免震重要棟屋上の外気取り入れダクトモーターダンパー(2箇所)に、動作不良を確認した。当該ダンパーを修理。	2022/05/24	

不適合情報

2022年5月31日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	屋外換気空調設備の環境改善用冷凍機(A)圧縮機用安全弁の動作試験において、開動作の不良を確認した。当該安全弁を点検し、対応方針を検討。	2022/05/24	
2	6号機	残留熱除去系ポンプ(B)停止後の系統圧抜き作業において、系統暖機弁(B)開度指示計に精度の逸脱を確認した。当該指示計を点検・修理。	2022/05/26	

不適合情報

2022年6月1日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋No. 1天井クレーン点検時、No. 2クレーンとの衝突防止装置リミットスイッチのうち、停止用スイッチが動作しないことを確認した。当該スイッチを交換。	2022/05/26	
2	2号機	原子炉建屋屋上床面の避雷導線支持金具の変形、タービン建屋外壁面の避雷導線の一部にたわみを確認した。避雷導線を離隔。	2022/05/29	
3	6号機	原子炉建屋(管理区域)中4階燃料取替制御室の床面に約3ccの水溜まりを確認した。汚染無し、拭き取り実施済み。調査したところ、天井から滴下していることを確認した。当該箇所を修理。	2022/05/27	
4	7号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)ブロウにおいて、プーリーの位置ずれを確認した。原因を調査し、修理。なお、除湿装置(A)運転中のため、当該系統の機能に影響無し。	2022/05/30	
5	その他	荒浜側焼却建屋の壁面に雨水の浸入を確認した。床面への滴下無し。不具合箇所を特定し、修理。	2022/05/28	

不適合情報

2022年6月2日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	換気空調補機常用冷却水系冷水往還差圧のコントローラ出力値と往還差圧制御弁開度にずれを確認した。制御弁を点検。	2022/05/30	
2	3号機	海水熱交換器建屋1階に水漏れを確認した。調査したところ、天井から壁をつたい雨水が浸入していることを確認した。被水した床面、ポンプのふき取りを実施済み。照明、ファイヤーウォッチを復旧。海水熱交換器建屋屋上の防水層を調査し、修理。	2022/05/27	
3	4号機	放射性廃棄物処理設備に、I系制御装置故障警報の発生・復帰が繰り返していた。調査のため、I系のバイパス操作をしようとしたところ、誤ってII系をバイパスしたことを確認した。II系の運転位置を通常に復帰済み。なお、制御の対象は高電導度廃液系のヒータであり、当該系統は使用していないことから、放射性廃棄物処理設備の運転に影響なし。	2022/05/30	
4	その他	副防護本部の電動アルコール噴霧器に異臭を確認した。調査したところ、電源コードの本体側が熱で溶けていることを確認したため、コンセントを抜き、火気が無いことを確認した。保全担当による確認の結果、焦げ跡ではないことを確認。センサーの異常により、アルコールが空の状態でも噴霧用のモーターが動作し続け、過負荷になったものと推定。同型の噴霧器は全て回収し、足踏み型に変更。	2022/05/30	

不適合情報

2022年6月3日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室の巡視点検において、ジェットポンプ(20台中1台)の流量計に指示不良を確認した。当該流量計を点検。当該流量計は、運転時に使用する計器であり、現在停止中のため、原子力安全への影響なし。	2022/05/30	
2	1号機	資機材搬入のため、原子炉建屋の扉を開放しようとしたところ、操作ハンドルが硬く、開けられないことを確認した。調査したところ、シャフトの変形を確認した。不具合箇所を修理。	2022/05/27	
3	1号機	タービン建屋(管理区域)地下1階の密封油再循環ポンプ出口配管フランジ下部の受けパンに油が滴下していることを確認した。当該箇所を点検し、修理。	2022/05/29	
4	7号機	可燃性ガス濃度制御系の試運転時、地絡過電流継電器動作による故障警報が発生し、加熱ヒータが自動停止したことを確認した。当該継電器の単体試験を実施し、機能が健全であることを確認済み。本事象の原因を調査。なお、当該系統は、供用前の設備であるため、原子力安全への影響なし。	2022/05/31	

不適合情報

2022年6月6日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(B)消音器入口伸縮継手の伸縮用ボルト取り付けプレートに、溶接部の脱落(1箇所)を確認した。次回点検時(2023年度)に修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能・運転に影響なし。	2022/05/30	
2	1号機	残留熱除去冷却中間ループ系(B)放射線モニタ装置指示値と記録計指示値に相違および記録計のペン駆動部に異音の発生を確認した。当該記録計を点検・修理。なお、残留熱除去冷却中間ループ系(B)は安全処置による停止中で、監視機能に問題なし。	2022/06/02	
3	5号機	1号機中央制御室の屋外放射線監視盤に、5号機海水モニタ指示値高警報の発生を確認した。調査の結果、放水口からの放射性液体廃棄物の放出や、モニタリングポストおよび排気筒モニタ指示値の有意な変動、自然現象や非破壊検査等の外部要因もなかったことを確認。測定データの解析により人工放射性核種は確認されておらず、一時的に指示値が上昇した影響によるものと推定。当該事象の原因を継続調査中。なお、事象の発生について新潟県に報告済み。	2022/05/31	
4	その他	非常用連絡設備機能確認において、免震重要棟ホットライン室に設置している各号機の中央制御室との衛星通信FAXが、通信できないことを確認した。当該事象の原因を継続調査中。	2022/03/23	

不適合情報

2022年6月7日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	ストームドレン処理系収集タンク(A)のタンク水排出において、出口ドレン配管が閉塞していることを確認した。当該配管を清掃。	2022/05/31	
2	7号機	中央制御室において、マルチロッドブロックモニタおよび起動領域モニタに軽故障警報が発生したことを確認した。調査の結果、ネットワーク装置の基板に偶発的な異常が発生したものと判断。ネットワーク装置基板の初期化を行い正常状態に復旧済み。今後メーカーにて基板部品を調査。	2022/06/01	
3	その他	荒浜側焼却設備の予熱器を起動したところ、プロパン気化器(B)低温異常の警報が発生したことを確認した。当該予熱器を停止。当該事象の原因を調査し修理。なお、A系に異常はなく、焼却設備の運転に影響なし。	2022/06/02	

核物質防護に関する不適合情報

2022年5月10日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備 考
1	侵入検知器の機器異常検出機能が、正常に動作しないことを確認した。侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/4/14	
2		2022/4/22	
3	侵入検知器が、一部正常に動作しないことを確認した。侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/4/19	

核物質防護に関する不適合情報

2022年5月24日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	立入制限区域の入口である発電所正門において、見張人が、有効期限切れの入構証を提示した当社社員の入構を制止したが、その後の調査から、過去に複数回、有効期限切れの状態の入構していたことを確認した。 原因としては、当該社員の有効期限の確認不足に加えて、ピストンバス乗員に対する有効期限の一括確認において、運用上、見張人が見落としやすい状態にあったことを特定した。 対策として、入構証の有効期限の管理徹底を改めて周知するとともに、ピストンバス乗員に対する有効期限の一括確認運用を廃止し、一人ひとり個別に確認することとした。 また、今後も核物質防護に関わる設備全般の改良・更新を進め、見張人への負荷低減やパフォーマンス向上に向けた恒久的な対策を立案・実行していく。 【2022年5月25日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/publication/pdf/2022/2022052501p.pdf	2022/5/11	

3. 公表区分Ⅲ 0件

4. 公表区分その他 0件

核物質防護に関する不適合情報

2022年5月31日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉が、正常に開放できないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖するとともに、他の扉での出入りを行った。	2021/10/25	
2	核物質防護上の障壁に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入防止機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2022/4/23	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/5/5	

核物質防護に関する不適合情報

2022年6月7日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉が、正常に施錠できないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2022/4/19	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返すことを確認した。侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/5/22	

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2022年6月)

2022年6月9日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定期検査による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%)

(5月末現在)

5月	0.0%
2022年度累計	0.0%
運転開始後累計	41.4%

③ 発電所発電電力量(万kWh)

(5月末現在)

5月	0
2022年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本)

(5月末現在)

当月発生本数	131
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,059
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2021年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (6月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	847	2,181	57%
	刈羽村	73	216	6%
	その他	139	934	20%
	小計	1,059	3,331	83%
県外		126	781	17%
合計		1,185	4,112※2	-
		5,297		100%
協力企業社数(社)		646		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※2 参考：6月1日の協力企業構内入構者数3611人

⑦ 来客情報(人) (5月末現在)

	5月	年度累計
地元	1,064	2,075
県内	589	1,148
県外	456	732
国外	0	1
合計	2,109	3,956

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
6月23日	定例所長会見(予定)
6月24日、25日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館)
7月14日	定例記者説明会(予定)
8月19日、20日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館)

インターネットホームページアドレス

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
0257-45-3131(代)

6/7号機消火配管設備における溶接不良の再施工状況について

2022年6月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

1.これまでの経緯

- 「株式会社東京エネシス（以下、エネシス）の一部の下請会社（A社）が施工を担当した柏崎刈羽原子力発電所 6/7号機の消火設備の配管が、バックシールド工法を実施せず溶接施工されている」旨の匿名の申告を受け、調査を実施し申告通りの溶接不良箇所を6号機で確認
- 6号機固定式消火設備の工事を発注したKK6安全対策共同事業株式会社（KS6）と7号機の同工事を発注したエネシスの両元請け会社に対し、調査の継続を指示

（2021年7月30日お知らせ済み）

- 7号機における調査の結果、6号機同様の溶接不良箇所を確認
- バックシールド工法を実施していなかったA社の全溶接施工箇所（1,220箇所）、発注仕様通りに溶接施工されていないB社、C社、D社の溶接施工箇所（317箇所）及び自主対策設備（43箇所）について再施工を行う（合計1,580箇所）
- 再施工にあたっては、元請けであるエネシスの再発防止対策の有効性と実効性を、当社に加え第三者機関である発電設備技術検査協会も直接確認しながら、2022年1月より再施工を開始する
- 当社としても、原子力発電所を安全に運営・管理する観点から、同様の事案が生じないようエネシスに対して厳正な措置を講じるとともに、当社としての対策を実行することで再発防止を図る

（2021年12月24日お知らせ済み）

2. 7号機の再施工状況

- 7号機の再施工箇所は、固定式消火設備（1,537箇所）及び自主対策設備（43箇所）の合計1,580箇所であり、6月4日時点で1,486箇所が終了
- 再施工にあたっては、エネシスのバックシールドガス系統構成計画書の作成などの再発防止対策の妥当性を当社が確認しながら、2022年1月より再施工を開始
- また、第三者機関である発電設備技術検査協会も再施工の初期段階において、エネシスにおける施工前のバックシールドガス系統構成計画の検討状況や施工時の酸素濃度管理状況を確認
- 再施工の現地溶接作業は6月中に終了する見込みであり、今後、使用前事業者検査に移行

設備	固定式消火設備							自主対策設備	合計
	A社	B社	C社	D社	E社	F社	計		
施工実績（溶接施工箇所）	1,220	615	625	196	237	953	3,846	43	3,889
再施工対象（※）	1,220	148	91	78	0	0	1,537	43	1,580
再施工実績（6/4時点）	1,188	114	78	63	—	—	1,443	43	1,486

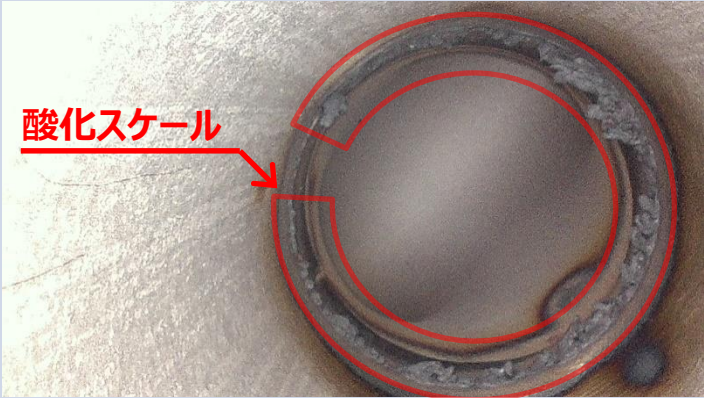

※ A社：申告案件（バックシールド工法未実施）であり全数再施工

B～D社：発注仕様通りに溶接施工されていない箇所

E社：内面調査にて問題なし

F社：工場溶接のため品質確認済

3. 溶接不良箇所の再施工状況

施工状況	写真	備考
施工前	 <p>酸化スケール</p>	配管内面の溶接部に酸化スケールの付着あり
施工後		配管内面の溶接部に酸化スケールの付着なし

4. 6号機の溶接施工状況、調査再開方針及び再施工

- 6号機の溶接施工箇所は、7号機で施工していたA,B,E,F社と6号機のみ施工のG,H社、計6社で3,204箇所
- 7号機でバックシールド工法を実施しておらず全数再施工するA社については、6号機も同様に全数再施工（1,251箇所）
- 工場溶接で品質確認ができていないF社（623箇所）の溶接施工箇所については、7号機同様、調査対象から除外
- B,E,G,H社の4社について、準備が整い次第、7号機同様、すべての溶接施工箇所（1,330箇所）の内面調査を再開
- 内面調査の結果については、7号機同様、当社に加え第三者機関である発電設備技術検査協会による確認も実施
- 調査にて溶接不良が確認された場合は、順次、再施工を行う

施工会社	A社	B社	E社	F社	G社	H社	計
施工実績 (溶接施工箇所)	1,251	794	279	623	233	24	3,204
内面調査対象	対象外 (全数再施工)	全数調査	全数調査	対象外 (工場溶接)	全数調査	全数調査	1,330

柏崎刈羽原子力発電所7号機 設計及び工事計画の届出書提出について (低圧蒸気タービンの取替)

- 2008年に、柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼の損傷を確認。損傷箇所を確認した結果から、原因は高サイクル疲労※と推定。
【2008年9月19日公表済】
- 当時の対策として、新品への交換や傷の除去、運用面の見直し等を実施。2009年の運転再開以降、現時点までに異常なし。
- 将来に向けた更なる信頼性向上にむけて、より振動応力に強いタービンの設計改良を進めてきており、今般、その設計改良が完了したことから、当該タービンの製造に着手。

※ 材料に約1万～10万回以上繰り返して荷重が加わることにより、亀裂が発生し最終的に破断に至る現象

2022年3月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

2008年3月 柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼に損傷を確認

2008年9月 損傷の原因と対策を取りまとめ、報告書として公表※

- 原因は、高サイクル疲労によるもの
- 設備面と運用面で対策を実施し安全性を確保
 - ✓ 設備面：新品への交換、傷の除去、等
 - ✓ 運用面：高サイクル疲労の要因となる事象の経験量に応じて点検
上記以外にも、累積運転時間に応じて抜き取り点検
プラントパラメータのモニタリング、等

⇒2008年以降の運転について異常が無いことを確認済

- 更なる信頼性向上策として、以下を計画
 - ✓ 損傷部位の検査技術の信頼性向上【2024年頃実用化予定】
 - ✓ 設計改良を行い、より振動応力に強いタービンへ取替、等

今回 更なる信頼性向上策のうち、タービン取替に係る設計改良が完了したことから、7号機タービン製作に向けて原子力規制庁に「設計及び工事計画の届出書」を提出予定